

2020年東京の パブリックデザインを考える

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、大規模施設やインフラ整備が進行しています。しかし、ストリートファニチュアやサインなど、ヒューマンスケールの都市サービス要素については、未だ検討が進んでいるとは言い難い状況にあります。そこで、2012年にオリンピックを成功させたロンドンでの取り組みを参考に、東京におけるパブリックデザインのあるべき姿を多くの方と共に考えたいと思います。

ロンドン市全域共通サインを実現した「レジブルロンドン計画」の統括責任者であるラコック・グラム社のサム・グラムの特別講演とともに、以下を主題としたシンポジウムにおいて、来るべき東京の理想像を考えます。

- ・ 全域共通サイン整備の意義
- ・ サインシステムの新たな役わりと可能性
- ・ サインシステムを通じたパブリックデザインの横断的な取り組み
- ・ 都市ブランド戦略の一環としてのパブリックデザイン



サム・グラム

ラコック・グラム・ステュディオ
創設者兼クリエイティブディレクター
レジブルロンドン計画 デザインディレクター



岸井 隆幸

日本大学工学部土木工学科 教授
東京の総合的な交通政策のあり方研究会 座長



永井 一史

2015年度グッドデザイン賞 審査委員長
東京ブランドクリエイティブディレクター
株式会社HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長



田中 一雄

株式会社GKインダストリアルデザイン
代表取締役社長
日本インダストリアルデザイナー協会 理事長

日時：2015年7月14日（火）17：30～20：30（受付：17：00～）

場所：AXIS GALLERY 東京都港区六本木 5-17-1 AXIS ビル4F

挨拶：国土交通省大臣官房技術審議官

特別講演：サム・グラム：「レジブルロンドンーロンドンの交通サインシステム」

シンポジウム：モデレーター / 岸井隆幸、パネリスト / サム・グラム、永井一史、田中一雄

参加費：一般 1,000 円、学生 500 円 定員：100 名（先着順）

参加申込方法：<http://tokyo-design2020.jp/> から事前申込をしてください。

問い合わせ先：公益財団法人日本デザイン振興会 Tel.03-6743-3777

主催：東京デザイン 2020 フォーラム / 公益財団法人日本デザイン振興会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会、公益社団法人日本サインデザイン協会、日本デザイン学会

共催：公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター、一般社団法人パブリックデザインコンソーシアム、一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟、都市環境デザイン会議

協賛：株式会社コトブキ、seymourpowell ltd *本シンポジウムは「造園 CPD」の認定プログラムとして申請する予定です。